

評価基準チェックシート 修正版

受審校名： 青森県立保健大学

氏名： 理事長 上泉 和子

(作成日：2020年11月2日)

適合度は水準A, B, Cの3段階とし、AとBを適合とする。適合度は評価の観点ごとに自己評価の上、評価チームが判定し、すべてが水準B以上の場合「適合」とする。
 水準A: 評価の観点を満たしている 水準B: 評価の観点をほぼ満たしている 水準C: 評価の観点を満たしていない
 推奨する観点に関しては、実施していればAもしくはBとし、実施していなければCとはせず、空欄を示す(ー)と記入してください。
 「特筆すべき事項」には、その観点について大学の長所等アピールすべき特徴を記載します。5行以内で簡潔に示してください。なければ空欄でかまいません。
 受審校は太枠内のみ記入してください。

評価基準1. 教育理念・教育目標に基づく教育課程の枠組み

評価項目: 1-1. 看護学学士課程の教育理念・教育目標

評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
1. 教育理念は、学部の場合は所属する大学の設置の趣旨や建学の精神、学科・専攻の場合はさらに学部の設置の趣旨と合致している。	看護学部(学科、専攻を含む)の教育理念が大学設置の趣旨や建学の精神とどのように合致しているのかが確認できることを、根拠資料もしくは説明資料を示して、点検・評価してください。	定款、寄付行為、学則、大学案内、学生便覧、ホームページURL等	看護学学士課程(看護学科)の教育理念は、様式5の表.大学の設置趣旨・教育理念・教育目標に示す通り、構造的に大学の設置趣旨、および教育理念と合致している。	A		
2. 教育目標は、教育理念を具体化している。	教育目標が教育理念と合致する文言で記述されていること、およびその記述から「どのような能力を持った人材を養成するのか」が確認できることを、根拠資料もしくは説明資料を示して、点検・評価してください。	学則、大学案内、学生便覧、ホームページURL等	本学では、教育理念と目的の具現化のため、5つの使命を挙げている。これをうけて、看護学科においては、教育目標の中に看護職として必要な能力を記述し、どのような人材を養成するのかを明確に示している。	A		
3. 教育目標は、設置主体や所属地域の保健医療ニーズを考慮している。	立地する地域の特性やニーズが記述されており、それらを踏まえた教育目標になっていることを、根拠資料もしくは説明資料を示して、点検・評価してください。	大学案内、学生便覧、ホームページURL等	看護学科の教育目標は、県民のライフスタイルに応じた課題及びニーズに主体的に取り組むための問題解決能力を高めることなど、地域の保健医療ニーズを考慮して明示している。	A		

注) 評価の観点1~3は、建学の精神等の内容ではなく、合致度、具体化、地域のニーズへの考慮がされているかを点検・評価してください。

評価項目: 1-2. 看護学学士課程のディプロマ・ポリシー等

評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
4. ディプロマ・ポリシーは教育目標と整合性がある。	ディプロマ・ポリシーが教育目標と密接に関連していることを、根拠資料もしくは説明資料を示して、点検・評価してください。	大学案内、学生便覧、履修要項等	看護学科の教育目標は、DPIに合わせて練られたものであり、様式5の表.教育目標と看護学科DPIに示す通り、4つの力のうち「専門的知識に根差した実践力」、「創造力」の2つにおいて、さらに具体的な内容を明示している。	A		
5. ディプロマ・ポリシーは卒業時に獲得している能力を明示している。	卒業時にどのような能力を有すれば学士の学位を授与するかが読み取れる文言で、ディプロマ・ポリシーが記述されているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	大学案内、学生便覧、履修要項等	DPは学生が理解できるよう学生便覧に記述されており、看護学科としては専門的知識に根ざした実践力のひとつとして、「看護技術習得のためのセルフマネジメントノート」を作成・活用しており、技術項目ごとに「卒業時の到達レベル」を明示している。	A		
6. ディプロマ・ポリシーに能力の獲得の判断指標が明記されている。	ディプロマ・ポリシーに示されている能力を獲得したことを何によって判断するかが明記されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	学則、学生便覧、履修要項等	2018年から試行として PROGテストや社会人基礎力調査などを実施し、その結果の検討を行っており、今後判断指標の明示に向けて検討中である。	B		

7. 当該教育課程を修めることにより付与できる資格等が示されている。	当該教育課程を修めることにより付与できる資格等が明記されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	大学案内、学生便覧、履修要項等	DPIにおいて、「看護学の学位(学士)」を与えることを学生便覧、大学案内、履修要項に明記している。また、その他の受験資格についても学生便覧に明記している。	A		
------------------------------------	--	-----------------	---	---	--	--

注) 評価の観点4～7が明示されている大学の出版物等をリストした資料を作成してください。

評価項目：1-3. 看護学学士課程のカリキュラム・ポリシーと教育課程の枠組み						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
8. カリキュラム・ポリシーはディプロマ・ポリシーを反映している。	カリキュラム・ポリシーはどのディプロマ・ポリシーを反映させているか、その関連性が確認できることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	学生便覧、履修要項等	カリキュラム・ポリシー(以下、CP)は、DPIに掲げた4つの力を育成するために2017年に整理・作成され、DPを反映させた内容となっている。	A		
9. 教育課程は、カリキュラム・ポリシーに基づいて体系的に構成されている。	カリキュラム・ポリシーに基づいて体系的に妥当なカリキュラムマップが図示されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	カリキュラムマップ等	教育課程がCPに基づき体系的に構成していることを確認するために、カリキュラムマップを作成し、教育課程を整理したため体系的に妥当なカリキュラムマップとなっている。	A		
10. 専門関連科目と専門科目の連携が図られている。	専門関連科目と専門科目の連携が明示されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	カリキュラムマップ等	専門科目と密接に関係がある専門関連科目は、科目名からわかるよう命名している。また、各担当教員等、教授内容の確認・調整を行っている。	A		
11. 教育課程は看護学の基礎を効果的に教授する科目構成となっている。	当該大学が捉える看護学の体系が明示されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	カリキュラムマップ等	看護を理解する上で基礎になる「専門支持科目」、看護学の中心となる「基幹科目」、学習成果をより充実・発展・応用する「展開科目」で構成している。	A		
	偏りのない知識や技術が習得できるよう科目が配置されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	カリキュラムマップ、学生便覧等(照合したものなど必要でしょうか?)	カリキュラム改正時には、カリキュラムマップにおける確認と看護教育モデル・コア・カリキュラム、看護師国家試験出題基準との照合を行い、偏りのない知識や技術が習得できるよう科目配置している。	A		
	明らかに看護職国家試験対策と考えられる科目を正規の科目として配置していないかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	カリキュラムマップ、学生便覧等	国家試験対策を主目的とする科目はない。	A		
12. 科目の学年配置、あるいは前提科目等が適切である。	科目の学年配置、あるいは前提科目等が適切に示されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	カリキュラムマップ、学生便覧、履修要項等	科目の学年配置は、実習も含めて、学年進行に伴い、より専門的な学習が充実するよう配置している。前提科目等も適切である。	A		
13. 高大連携や初年次教育を意識し、大学で学ぶための心構えを作る工夫がされている。	大学で学ぶための心構えを作る工夫がなされていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	学生便覧、シラバス等	高大連携事業として、看護学を学ぶための導入にふさわしい科目の開講をしている。初年次教育は、大学で行われる教育の理解を深め、大学生としての学び方を学ぶための科目を設定している。	A		

注) 便覧、履修要項等を根拠資料として示す場合は、評価の観点の番号を記入したインデックスを付けてください。シラバスが印刷された冊子でない場合は、サンプルを添付し、シラバスにアクセスできるURLを明示してください。(シラバスについては以後同じ。)

評価項目：1-4. 意思決定組織への参画

評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
14. 看護学教育プログラムを統括する上位の決定権のある会議へ、看護学教育の責任者*は議題を提出できる。	大学組織に関する規程等において会議の構成員が示され、看護学教育の責任者*が参加する会議とその決定権について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	大学・学部・専攻の規程、組織図等	看護学科長は、学内の経営・教員評価・研究等の委員会に所属し、必要時学科全体の意見を挙げ、検討できるような体制になっている。	A		
15. 看護学教育の責任者*の選考基準が明確である。	大学の規程等において看護学部長、看護学科長、看護学専攻長等の看護学教育の責任者の選考基準が明記されているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	大学・学部・専攻の規程等	看護学教育の責任者(学科長)の選考基準は、公立法人青森県立保健大学組織規則第5章第4節27条に記されている。	A		

*)看護学教育の責任者とは、学部長、学科長、学科主任、専攻長などの職位の者をいいます。

評価基準2. 教育課程における教育・学習活動						
評価項目: 2-1. 教育内容と目標・評価方法						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
1. 各科目担当者はディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づいて教育内容を構成している。	各科目担当者が2つのポリシーを考慮して教育内容を構成していることが分かる資料を示して、点検・評価してください。	シラバス、シラバス作成要領等	教育内容について各科目担当者がDP、CPIに基づいていることを確認し、シラバスに明記することを大学全体で取り決めている。	A		
2. 時代の要請と最新の知見を踏まえた教育内容である。	時代の要請と最新の知見を踏まえた教育内容であることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス等	定期的なカリキュラムの評価・見直しを行う体制をつくり(カリキュラム検討委員会)、看護学科全体で教育内容を決めている。	A		
3. 各科目の到達レベルが明示されている。	到達レベルが明示されているかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス、実習要項等	シラバス・実習要項に「科目のねらい・目標または目的」として到達レベルを明示している。	A		
4. 各科目の到達度を測る評価方法(評価の観点)が明示されている。	評価方法が明示されているかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス、実習要項等	シラバスに各科目の評価方法を明示するための記載欄を設けている。	A		
5. 評価者が明示されている。	評価者が明示されているかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス、実習要項等	シラバスに各科目の評価者を明示するための記載欄を「科目責任者・担当者」として設けている。	A		
6. 成績評定基準が明確に定義され、周知されている。	科目ごとの評定基準が明記されていること、また大学として成績の基準が明記されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	履修要項、シラバス、実習要項等	大学としての成績評定基準を学生便覧に明記し周知している。	A		
7. 評価は学生にフィードバックされている。	学生にどのようにフィードバックされているのか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス等	学生用学内情報ネットワークの画面上から各学生個人の成績を確認できるようにしている。技術試験では教員が個別に面接してフィードバックしている。	A		
8. 学生の評価への疑問・不服等を把握できる体制がある。	学生への配布物に、この仕組みや活用方法に関する説明があるかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	履修要項等	学生による授業改善アンケートを実施し活用しており、セメスターごとのガイダンスでの周知している。また、さまざまな意見・感想・要望などの投書を受け付けている。	A		

評価項目：2-2. 教員組織と教員の能力の確保						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
9. 教員組織は教育課程を展開するために適切な専門領域別・職位別構成である。	大学が定めた専門領域ごとにその領域を教授できる教授(または准教授)が配置されていること、実習指導は専任教員が担当できる状況であることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教員組織と担当科目の一覧、実習配置図、時間割等	看護学科教員は43名で、9専門領域4講座で構成されている。各講座に教授が1~4名いる。教育課程を展開するために必要な領域・職位構成になっている。	A		
10. 教育・研究・社会貢献を行うのに必要な教員が一定数確保されている。(看護教員一人当たりの学生数が参照基準(JANPUの直近の実態調査のデータ)を上回る努力をしていることを基準適合の目安とする。)	看護教員数が確保され、参照基準に適合していることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。参照基準を下回っている場合は、現在の教員数が教育・研究・社会貢献の質保証上問題のないことについて、もしくは今後の教員数増員の計画などにより、参照基準を上回る努力をしている等の資料を示してください。なお、「看護教員」とは、看護師・保健師・助産師免許を有する教員をさします。	教員定数、教員配置一覧等	2019年5月現在、看護教員1人あたり学生数は11.3名であり、参照基準より低値である。しかし、教員補充の目途が立っており、今後、教育・研究・社会貢献を行うための必要数は確保できる。	B		
11. 教員採用・昇任の基本方針、基準が明確である。	方針、基準が明確かどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教員採用規程、教員昇任規程等	教員採用・昇任の基本方針、基準が明確である。	A		
12. 新任教員育成や教員間のピアサポート等を実施している。	該当する仕組みと実績について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	新任教員育成プログラム等	入職時のガイダンスや、全教員を対象にFDマップをもとにした管理を行っている。また、ピアレビューを実施できる体制が整っている。	A		
13. 組織として教員の看護実践活動を支援する仕組みがある。	看護実践活動を組織として支援する仕組みについて、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教員の活動に関する規程等	教育と実践の連携強化を目的にユニフィケーションを導入している。	A		
14. 教員は教育・実践能力向上のために、適切なフィールドで看護実践活動をしている。(推奨)	評価の観点13の成果として、教員の看護実践活動の実績を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教員の看護実践活動報告書等	ユニフィケーションは毎年5名が活動し、自主研修制度は13名(3年間)が活用している。仕組みを利用しフィールドでの看護実践活動を行っている。	A		
15. 教員の研究能力の向上と研究の支援に組織的に取り組んでいる。	研究支援や研究能力向上についての、組織的取り組みと実績があるかどうかを、根拠資料を示し、点検・評価してください。	研究支援等に関する規程、研究支援の実績一覧等	勉強会の開催、先輩教員からの指導等により、徐々に業績が増加している。今後もピアレビュー制度の活用や勉強会への教員の参加等促す予定である。	B		
16. 教員の研究時間の確保に組織的に取り組んでいる。(推奨)	研究時間の確保に関する規定やその実施状況の根拠資料を示して、組織的な取り組みかどうかを、点検・評価してください。	研究時間の確保に関する規定、教員の研究時間調査結果等	研究時間の確保は、個人や領域ごとに様々工夫し取り組んでいる。しかし、十分に確保できていない。	B		
17. 教員は研究結果を教育に活かしている。	教員が研究成果を教育に反映させている具体例を挙げた根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス等	教員は、研究結果を教育に反映させている。	A		
18. 社会貢献を組織的に行い、教員が適切な活動を行っている。	社会貢献を組織的に支援する仕組みがあり、実施されているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	社会貢献活動に関する規程、実績報告書等	教員評価の評価項目に「社会貢献」の項目があり、活動目標を設定する仕組みがあることで、教員の活動を組織的に後押ししている。	A		

評価項目：2-3. 教育方法：学生が主体的に学ぶための種々の工夫						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
19. 学生が到達目標を達成するための教育方法がとられている。	到達目標に達成するのに適切な教育方法が選択されているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	履修要項、シラバス、ポートフォリオ等	科目により、グループワーク、ロールプレイ、シミュレーション学習などアクティブラーニングを取り入れ、学生が主体的に学び、双方向学習に取り組むことができるよう工夫している。	A		
20. 教育目標に対する学習の到達状況について、学生が継続的に自己評価できる体制が整えられている。	教育目標に対する学習の到達状況について、学生が主体的な学習プロセスを継続的に自己評価できる体制が整えられているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	ポートフォリオ、履修案内、シラバス等	教育目標は、シラバスに明示し、各授業の最終回には、「授業改善アンケート」にDPIに示す4つの力についての到達状況を自己評価する項目を設けている。特に、看護技術に関して、1年次からセルフマネジメントノートを配布し、学生が自己評価できるようにしている。	A		
21. 教育方法にあった教室が準備されている(講義室・演習室・実習室・視聴覚教室等)。	必要な教室、実習室等の数と、教育方法に相応しい教室の仕様であるかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	校舎図面、教室の視聴覚機器等一覧等	講義室には、AV機器一式が設置されている。看護学科の実習室には、これらに加えて、カメラが設置されており、デモンストレーション中の手元を投影および録画できるような設備を有している。	A		
22. 学生数に対応した自己学習室やグループ討議のできる施設がある。	自己学習スペースや学生がグループ討議できる部屋数が、学生数に照らして適切かどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	校舎図面等	自習室や学生相談室がある。学生がグループ討議できる部屋として、演習室や小講義室があり、学生数に照らして適切である。	A		
23. 実習用モデルやe-learning教材、IT機器などが、学生数や教育方法からみて十分整っている。	教育目的、内容、学生数に相応しい教育機材等が準備され、且つ、十分な学習効果が得られているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	シラバス、実習モデル一覧、IT機器一覧等	グループで行う学内演習において、時間内に全学生が実施できることから、十分な数が準備できている。e-learningは実施していないが、実習用モデル、高性能シミュレーター等必要な教材が準備されている。	A		
24. 機器・備品の整備・更新が適切に行われている。	機器・備品の整備・更新が適切に行われているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	整備・更新の記録等	不具合や更新が必要な場合は、予算計上し購入または修理している。またシミュレーション・ラボは年1回定期点検を実施している。	A		
25. 看護実習室の運用に関する方針が規定され、教員や学生に周知されている。	看護実習室に関する規定等の有無と、実習室運用の方針が教員や学生に周知されているかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	看護実習室に関する規定、学生便覧等	学生には、各領域で管理している実習室について、口頭や配布資料で説明を実施し、他セルフマネジメントノートに掲載している。教員には、看護学科マニュアルに掲載している。教員や学生に周知されている。	A		
26. 看護実習室での医療安全管理対策ができています。	実習室での医療安全管理対策は周知、実行されているか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実習室に関する規定等	危険物の収納・管理はしっかりと行われている。事故防止対策を周知し、自己学習時も見守りを実施している。学生保険WELLにも加入しており、医療安全管理対策はできている。	A		
27. 看護実習室での自主学習を支援する体制ができています。(自主学習を支援する担当者が週4日以上配置されている。(推奨))	実習室の開放時間や授業時間外で使用する場合のルール等が整備され、学生が自主学習できる体制になっているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。さらに自主学習を支援する担当者やその配置について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実習室に関する規定、学生便覧等	学生が自己学習できるように、実習室の開放・教員の対応の仕組みがある。担当者の配置はないが、自主学習を支援する体制ができています。	B		

28. 図書館には学習に必要な医療保健看護関連の文献・資料が揃っている。	学習に必要な医療保健看護関連の文献・資料があるかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	蔵書数、購読雑誌一覧等	蔵書、視覚教材等は、学生が自主的に学習できるように十分に整備されている。	A		
29. 検索システムが整備されている。	学生が自主的に学習に使用できる検索システムがあるかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	図書館の利用の手引き、学生便覧等	6種類のデータベースを契約し、自由にアクセスできることから、必要なシステムが整備されている。	A		
30. 司書は自主学習を支援する機能を果たしている。	司書が行う学生支援の内容を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	図書館の利用の手引き、ガイダンス資料、司書の配置等	入学時のガイダンス、研究のための文献検索方法のガイダンス等を企画・実施している。学生の自主学習を支援する役割を果たしている。	A		

評価項目：2-4. 臨地実習						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
31. 講義科目と臨地実習科目は内容が連動している。	講義科目と実習科目の関連を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実習要項、シラバス、カリキュラムマップ等	講義科目と臨地実習科目は、連動しており、シラバスに明示している。	A		
32. 臨地実習を行うに適した施設が大学の責任において確保されている。	大学が実習施設を確保していることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実習要項、実習施設概要、実習受け入れに関する承諾書等	261の実習施設があり、看護師・保健師・助産師の実習ができるように、必要数を確保できている。	A		
33. 臨地実習の展開に適切な数の教員(専任・非常勤)が配置されている。	実習指導体制や方法と教員配置の適切性を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実習要項、非常勤の実習指導教員に関する規程等	実習内容に応じて、各施設や病棟毎に指導に必要な教員が配置できている。不足等の場合等は非常勤の実習担当を雇い配置できている。	A		
34. 教員の实習指導能力の向上を図る仕組みがある。	実習指導に関連するFDが実施されているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	FDの実績一覧、実習指導に関連する研修会資料等	OJTや実習後のフィードバック、実習指導者会議の開催等が指導能力向上につながっている。	A		
35. 臨床教員等の任用基準が明確である。	臨床教員等の任用基準が明記されているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。ここでいう臨床教員等とは、大学から称号を付与または任用する臨地実習施設の職員をいいます。	臨床教員に関する規程等	公立大学法人青森県立保健大学臨地教授等規程に明記している。	A		
36. 大学教員と臨床教員等の役割分担を明確にし、協働している。	大学教員と臨床教員等の役割分担が明示されているか、根拠資料を示し、点検・評価してください。	実習要項、役割分担申合せ等	公立大学法人青森県立保健大学臨地教授等に関する内規に明記され、連携を取りながら協働できている。	A		
37. 臨地実習施設との連携が機能的・組織的に行われている。	組織的に実習施設との連携を図っている仕組みを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	連絡会等の規程、連絡会等の記録等	実習時の連携以外にも、実習指導者会議を年1回開催し、情報共有・意見を交換している。	A		
38. 組織的に臨地実習における感染症対策、感染症暴露に関する予防策、集団感染予防対策がとられている。	感染症対策が明示され、周知されていることを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	感染予防に関する規定、感染症予防マニュアル、感染症対応の発生件数等	入学時の抗体価検査実施、ワクチン接種、実習に応じた感染症の検査等を組織的に実施できている。感染予防については、実習前に講義・演習で学ぶことができる。	A		
39. 実習時に発生する傷害・損害への予防・対策が明示され、学生・教職員、臨地実習施設関係者に周知されている。	傷害・損害の予防から事故発生後の対策がとられているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	事故発生時マニュアル、学生の保険加入状況、事故報告数等	入学時全員が学生保険に加入している。保障内容についてもガイダンスで周知している。教員にも同様の内容が周知されている。	A		
40. 個人情報の保護と保全対策が周知され、確実に実施されている。	個人情報保護が周知され、保護のための対策が実行され、事故発生後の対策が明示されているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	情報管理を含む安全管理マニュアル、事故報告マニュアル等	個人情報の取り扱いの規定やシステムは構築されている。学生に対しては、ガイダンスでの周知、実習要項への掲載等で周知している。	A		
41. 実習におけるハラスメント予防の取り組みと発生時の対応が定められ、周知されている。	実習におけるハラスメントの予防対策がとられているかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実習要項、ハラスメント予防や発生時の対応に関する規定、ハラスメント事案件数と対応状況等	ハラスメント防止等に関する対応について、2020年度より、学生がすぐ確認できるように全学年の実習要項等に記載するものとした。	B		

評価項目：2-5. 教育課程展開に必要な経費						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
42. 当該教育課程の教学に必要な予算編成は適切に位置づけられている。	予算編成のプロセスにおいて、教学に必要な予算が確保される状況であるかどうか、根拠資料を示して、点検・評価してください。例)謝金規程に基づいて実習施設への謝金や必要な外部講師謝金が確保されているかどうか等	予算委員会規約、組織図、予算額等	看護学科の教学に必要な予算は、所定の手続きに基づき、必要額が予算配分されている。	A		
43. 設置主体の予算決定に当該教育課程の責任者が適正に関与している。	予算委員会等における当該教育課程の責任者の位置づけと役割を確認し、設置主体の予算決定への関与を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	予算委員会の規約等	看護学科長は、学部運営連絡会議で予算配分の検討に参画していることから、適正に関与できている。	A		
44. 当該教育課程の責任者は教学に必要な予算執行ができる。	教学に必要な教育研究費の積算根拠とその執行状況を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	予算書・決算書、教育研究費の積算根拠等	看護学科長に選出された看護学科予算検討委員会において、必要予算の計上、計画的に執行できている。	A		
45. 教員は教育・研究に必要な予算の執行ができている。	教員が教育・研究に必要な予算の執行ができているかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育研究費の予算書・決算書、教育研究費の積算根拠、予算執行マニュアル、公的研究費等の管理執行マニュアル等	個人研究費として30万、この他実績に伴い加算され配分され、執行は教員個人で実施している。	A		
46. 教員の教育能力開発のために使用できる経費が予算化されている。	教員の教育能力開発に向けた取組の予算について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	FD予算、FD費の積算根拠等	教育改善助成事業費が計上され、教員の能力開発に使用できている。	A		

評価基準3. 教育課程の評価と改革						
評価項目:3-1. 科目評価・教育課程評価と改善						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
1. 教育目標、ディプロマ・ポリシーの達成を目指して、教育課程が実際に展開されていることを確認し、評価している。	教育目標やディプロマ・ポリシーの達成のために計画されている教育課程が、実際に計画に沿って展開されているかどうかを確認する仕組みと評価方法を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程に関する委員会規定、教育課程評価に関する規程、評価の実際の資料等	教育課程の展開内容を示すシラバスの記載内容について、教務委員が確認し、必要に応じて適宜修正を要請するような体制をとっている。	A		
2. 教員間で科目間の関連性を確認し、成果を評価する体制がある。	科目間の関連性による教育課程の構成上の成果を評価する仕組みができているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程に関する委員会規定、評価の実際の資料等	カリキュラムの検討に際し、科目間の関連性・順序性などの確認および見直しを行っている。カリキュラム評価のためのアンケート調査を実施しており、教育課程の評価を行っている。	A		
3. 授業内容や教育方法について学生による満足度評価を組織的に行っている。	学生による満足度評価が組織的な取り組みになっているかを、根拠資料を示して点検・評価してください。	評価の統括部門、実施方法、実施時期、満足度調査結果等	授業改善アンケートや卒業時学生満足度調査等を実施し結果をもとに評価している。組織的な体制がある。	A		
4. 科目に対する学生からの評価(授業評価等)を組織的に行っている。	組織的に授業評価を行っているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	評価の統括部門、実施方法、評価項目、実施時期、授業評価結果等	授業改善アンケート結果の評価については、継続的質向上委員会や教育改善委員会で実施している。	A		
5. 教員からの教育課程に関する評価データを定期的に収集している。	教員による教育課程の評価を定期的実施しているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	実施方法、実施時期、評価データ等	カリキュラム検討委員会により、カリキュラム改正の都度、評価のための調査を実施している。	A		
6. 科目評価(授業評価)の結果を公表している。	科目評価(授業評価)の結果が公表されているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程評価に関する規程、教員・学生へのフィードバック方法、公表例等	学生に対しては、キャンパスメイトを利用し公表している。教員へはキャンパスメイトの他に担当科目の結果をフィードバックしている。	A		
7. 評価データを教育課程の改善に活用する方策が明示されている。	学生、教員からの評価を、教育課程の改善に活用するための組織体制ができているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程評価に関する規程等	評価結果をもとに次年度のシラバス内に、工夫点を明示していることから、改善に役立てることができている。	A		
8. 評価データを用いて教育課程の改善を継続的に実施している。	学生、教員からの評価結果を用いて、継続的に教育課程の改善に役立てているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	改善例、改善例の公表資料等	評価データをもとにカリキュラムの検討を行い、実際に修正・改善を行っている。	A		
9. 教育課程は、高等教育政策や学協会の動向※を踏まえ、構成されている。 ※看護系大学協議会のコアコンピテンシー、日本学術会議の教育課程参照基準、文部科学省のモデル・コア・カリキュラム等	様々な提言・報告等と教育課程の関連を検討する組織体制や実施に関し、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程に関する委員会規程、検討方法、検討時期、検討結果等	カリキュラム改正に際し、文部科学省、日本看護系大学協議会、および日本学術会議の報告書等を踏まえ、検討を重ね構成した。	A		

評価項目:3-2. 卒業状況からの評価と改善						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
10. 入学年次別の卒業率、留年、休学、退学者数などの分析が組織的になされている。	データ収集や分析が組織的な取り組みになっているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	過去5年(完成年次より5年経過していない場合はある分のみ)の毎年度の卒業率(入学から4年間で卒業した者の割合)、留年者数、休学者数、退学者数、データ分析の実施部門、分析時期、分析方法等	入学年次別の卒業率、留年、休学、退学者数などの分析は、全学として、入試委員会で行っている。入試委員会では、入試形態別、年度別、学科別、男女別、入学後のGPA値などについて、定期的に分析を行っている。	A		
11. 分析に基づき、学習支援に必要な対策がなされている。	学習継続(適切な方向転換を含む)へのアドバイス等の対策がなされているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	評価の観点10の分析結果から工夫された学習支援対策、実施状況等	留年者、経済的事情による休学者など、事例に応じて必要な学習支援を実施している。	A		
12. 卒業時到達レベルの評価が組織的になされている。	組織的に卒業時の到達目標に達している(学位授与に値する)ことを評価しているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	卒業認定の方法等	卒業判定会議を実施し、卒業要件を満たしているかの判定をしている。	A		
13. ディプロマ・ポリシーに照らして、看護職の免許取得状況が適切である。	ディプロマ・ポリシーに照らして適切かどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	過去5年(完成年次より5年経過していない場合はある分のみ)の看護職国家試験の受験者数・合格者数・合格率等	看護師・保健師・助産師国家試験の合格率は、高水準を維持しており、ディプロマ・ポリシーに照らして適切である。	A		
14. 免許未取得者がいる場合、その者への支援がされ、教育改善が検討されている。	看護職の免許を未取得の卒業生に対する支援策や、未取得の原因分析から教育の改善をどのように図っているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程検討委員会等での検討記録、支援の実績等	卒業生の支援は、国家試験対策委員会が行っている。未取得の原因分析は担当教員が行い、次年度の対策に活用している。	A		
15. 学生の進路は教育理念と一致している。	進路が教育理念に合致しているかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	過去5年(完成年次より5年経過していない場合はある分のみ)の卒業時の就職先・職種あるいは進学先	多くの学生が、臨床現場で活躍しており、理念と合致した人材育成ができています。	A		

評価項目：3-3. 雇用者・卒業生からの評価と改善						
評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
16. 卒業生に教育プログラムに対する満足度調査、卒業後の動向調査をしている。	実施状況を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	卒業生の教育プログラムに対する満足度調査結果、卒業生の動向調査結果、いずれも過去5年以内に行ったもの	卒業生に対する教育プログラムの評価はまだ実施されていない。このことは、教学マネジメントの検討により、現在課題となっており、今後、検討する予定である。	B		
17. 卒業生からの評価を、教育課程の改善に結びつける仕組みがある。	調査結果から得た課題を教育課程の改善に結びつける体制について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	教育課程評価の規定、改善例等	2016年のアンケート結果をもとに、次期カリキュラム改正に活用した。	A		
18. 卒業生の雇用先からの卒業生に対する評価を調査している。(推奨)	実施状況を、根拠資料を示して、点検・評価してください。	卒業生に対する雇用先からの調査結果(過去5年以内に実施したもの)	雇用主に対して5年ごとに調査を実施している。	A		
19. 卒業生の雇用先から、教育プログラムの評価を受ける体制がある。(推奨)	卒業生の雇用先から、教育プログラムに対する評価を受ける体制について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	卒業生の雇用先からの教育プログラムに対する評価結果(過去5年以内に実施したもの)	雇用主を対象とした調査を5年ごとに実施しており、教育課程に関する要望が記載されていることから、評価を受ける体制がある。	A		
20. 雇用先からの評価を、教育課程の改善に結びつける仕組みがある。(推奨)	評価の観点18、19を実施している場合、評価結果を教育課程の改善に結びつける組織的な仕組みがあるかどうかを、根拠資料を示して、点検・評価してください。	評価を教育課程の改善に役立てた例等	雇用主を対象とした調査は実施しているが、教育課程の改善に活用する仕組みはない。実習指導者会議での意見は、実習・演習に反映している。	A		

評価基準4. 入学者選抜

評価項目: 4-1. 看護学学士課程のアドミッション・ポリシー

評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
1. ディプロマ・ポリシーと整合性のあるアドミッション・ポリシーが明示されている。	アドミッション・ポリシーとして、入学者受け入れの基本的方針と受け入れる学生に求める能力・態度が記述されているか、またディプロマ・ポリシーと一貫性があるかについて、根拠資料を示して、点検・評価してください。	入学者選抜試験の募集要項、ホームページの記述内容等	APIに入学者受け入れの基本的方針と受け入れる学生に求める能力・態度が記述されており、またディプロマ・ポリシーと一貫性がある。	A		
2. アドミッション・ポリシーは高校生、高等学校教諭、保護者に分かる言葉で示されている。	評価の観点1の内容は、高校生、高等学校教諭、保護者に分かる言葉で記述されているかを、評価の観点1と同じ根拠資料で、点検・評価してください。		高校生、高等学校教諭、保護者に分かる平易な語句を使用している。	A		

評価項目: 4-2. 看護学学士課程の入学試験とその改善

評価の観点	観点をどのように点検・評価するのか (受審校用)	根拠資料	特筆すべき事項(受審校用)	適合度 (受審校)	適合度 (評価員)	講評(評価員用)
3. 入学者選抜試験はアドミッション・ポリシーを反映した方法で実施している。	入学者選抜試験それぞれが、アドミッション・ポリシーで求めている能力・態度とどのように関連しているか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	入学者選抜試験募集要項、ホームページの記述内容等	各入試で小論文・面接・集団討論・レポート等の方法を用いて5つのAPが適切に評価されるよう組み、実施している。	A		
4. アドミッション・ポリシーと入学者選抜試験、それによる入学者の適性との関係を検証している。	それぞれの入学者選抜試験は、アドミッション・ポリシーに見合う受け入れ学生の能力・態度を評価しているか、また入学した学生は、求める能力・態度を有しているかについて検証する学内の組織と方法について、根拠資料を示して、点検・評価してください。	検討結果資料等	入試委員会において入学者選抜試験毎に入学後の状況・成績等の分析をもとに、APIに見合う能力・態度を適切に評価している。入学後もGPA平均値や休学・退学者関連の資料等を用い、APIに見合う能力・態度かを検討している。	A		
5. 検証結果を入学試験の改善につなげている。	評価の観点4から得た課題をどのように改善につなげたか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	入試委員会等での検討状況、入試の改善例等	入学試験の改善の必要性については、随時入試委員会で検討されている。APと入学者選抜試験との関連においては、特に改善の必要はない。	A		
6. 入学者選抜試験の公平さ、公正さが担保できるよう組織的に取り組んでいる。	入学者選抜が公平・公正に実施されているかを見直し、課題を分析し、改善策を実施するための体制があり、どのような活動を行っているか、根拠資料を示して、点検・評価してください。	入試にかかる規程、取り組み例等	試験の公平さ、公正さの確保については入試毎に実施状況を検討し、点検を行い、合議制のある会議で案件を検討している。	A		